

大分市中心市街地活性化基本計画
(資料編)

大分県大分市

—目次—

用語の解説	1
資料 1 (中心市街地の将来都市構造)	6
資料 2 (中心市街地のまちづくりの方針)	9
資料 3 (中心市街地の交通体系について)	11
資料 4 (大分市と中心市街地の人口の推移)	13
資料 5 (中心市街地の人口推移)	14
資料 6 (中心市街地の世帯数推移)	15
資料 7 (中心市街地の高齢者人口推移)	16
資料 8 (複合文化交流施設の基本方針)	18
資料 9 (複合文化交流施設構成)	19
資料 10 (高齢者等の生活環境機能の状況)	20
資料 11 (中心市街地の変遷)	21
資料 12 (歩行者通行量調査)	23
資料 13 (大分駅周辺総合整備事業スケジュール)	27
資料 14 (大分市民満足度調査)	28
資料 15 (大分市中心市街地活性化基本計画(案)に関する意見募集結果)	29
資料 16 (大分都市計画区域における準工業地域)	31

◇用語の解説◇

あ行	
アースカラー	地球の色。地球が本来もっている色あいの総称。
アクセス	情報媒体や情報システムとの接触・接続を行うこと。また、産業・住宅の立地等における交通の利便性、交通手段のこと。
アドバイザー	助言者、忠告者。
アミューズメント	娯楽、気晴らし、楽しみ。
イノベーション	新しい技術の発明だけではなく、新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす自発的な人・組織・社会の幅広い変革。
イベント	行事、催し。
インセンティブ	誘因。目標を達成するための刺激。
インターネット	世界中のあらゆる機関（大学、研究所、政府組織、企業、個人等）のコンピュータネットワークを相互接続した大規模なネットワーク。
インパクト	強い影響や印象。
インフラ	インフラストラクチャーの略語。生産や生活の基盤を形成する構造物。ダム・道路・港湾・発電所・通信施設などの産業基盤、および学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設がこれに該当する。社会的生産基盤。
エリア	地域、地区。
オアシス	人々の気持ちを和らげたり、癒したりしてくれる場。いこいの場。
オープンカフェ	道路や公園等の公的空間に面した壁や屋根を取り払い日差しや風をとりこめるように設計された開放的な喫茶店やレストランなど。
オープンスペース	都市や敷地内で、建物のたっていない土地。空地。

か行	
ガイドライン	政府や団体などが指導指針として掲げる大まかな指針。
カウント	数を数えること、またその数値。
カラー舗装	歩道などを歩行者が安全に通行でき、また周囲の環境となじむような色で舗装すること。
キーワード	文章の理解や問題解決の手がかりとなる語。
交通結節機能	鉄道の乗り継ぎ駅、道路インターチェンジ、自動車から徒歩やその他の交通機関に乗り換えるための停車・駐車施設、鉄道とバスなどの乗り換えが行われる駅前広場のように交通動線が集中的に結節すること。
コーディネーター	調整、まとめ役。
公示地価	国土交通省が毎年3月に公表する全国の土地価格。

か行	
コスト	費用。
コミュニティ	人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、およびその人々の集団。地域社会。
コラボレーション	共同作業。共同製作。また、企業同士の共同開発など。
コンサルタント	企業経営・管理の技術などについて、指導・助言をする専門家。
コンシェルジュ	特定の分野や地域情報などを紹介し案内する人。
コンセプト	概念。
コンパクト	ぎっしり詰まった、質の密な、小じんまりとした。
コンパクトシティ	主にヨーロッパで発生した都市設計の動きで、高齢者も含めた多くの人にとって暮らしやすい、多様な都市機能が集積した歩いて暮らせる都市空間が実現されたまちの概念。
コンペ	コンペティションの略称。競争、競技。
コンベンション	会議、イベントなど特定の目的で多数の人々が集まること。

さ行	
サイクリングロード	自転車のための道路。
サイクル&レールライド	環境負荷が大きい自動車の乗り入れを減らすために自動車を駐車場に停め、そこからバス・電車などの公共交通機関や自転車に乗り換えるシステム。
サイクルポート	駐輪場。
サイン	看板。
サウンド	音、音響。
サポート	支えること。支援すること。
サンプル	見本、標本。
シェルター	非難所、一時的な保護施設。
シナリオ	脚本。
準工業地域	都市計画法の用途地域で、主として環境の悪化をもたらす恐れのない工業の利便を増進するために定めた地域。
商業地域	都市計画法の用途地域で、主として商業その他業務の利便を増進するために定めた地域。
ショッピングセンター	小売店の集中した区域や建物。
ショッピングモール	遊歩道や歩行者専用の買物広場などのある大規模な商店街。車両乗り入れが禁じられている。
シンボルロード	象徴的な道路。
スキルアップ	技能や能力を向上させること。
ストリートファニチャー	街路や広場などに置かれる、案内板、ベンチ、水のみ場など屋外装置物。
ゾーニング	空間を用途別に分けること。

た行

タウンウォッチング	まち歩き。
タウンモビリティ	大規模な小売店や商店街の施設などをバリアフリー化し、高齢者など移動に困難がある人に対して電動車椅子・スクーターを貸し出して利用を助ける制度。
ターゲット	標的、的。
中核市	地方自治法(1994年改正)に基づく、地域の中核的都市機能を備えた都市。人口30万人以上、面積100km ² 以上などを要件とする。
ディスカッション	討論。
低未利用地	本来、建築物などがたてられその土地にふさわしい利用がなさせべきと考えられる土地において、そのような利用がなされていない土地。例えば、商店街にある空き地など、利用密度の低い土地。
テナント	貸しビル、貸し店舗などの借り手。
特別用途地区	用途地域内の一定の地区における当該地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護等の特別の目的の実現を図るため当該用途地域の指定を補完して定める地域。
ソフト事業	人、制度、システムなど主に運用に関するもの。
土地区画整理事業	都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るため行われる土地の区画形質の変更及び公共施設の新設又は変更に関する事業。
都市計画マスタープラン	都市計画法第18条の2に規定されたもので、市町村の都市計画に関する基本的な方針を、市民の身近な意見を取り入れた大分市の将来像を描き出し、その実現に向けた都市計画の基本的な方針を定めたもの。

な行

ナショナルチェーン	全国展開をしているチェーン店。
ニーズ	必要、要求。
ネットワーク	計画を遂行するために必要なすべての作業の相互関係を図式化したもの。

は行

ハード事業	道路や建築物、設備など主に施設に関するもの。
バイパス	交通渋滞を緩和するため、市街地を迂回して設けられた道路。
バスターミナル	バスの総合発着所。
パブリックアート	公共の空間で表現される芸術。
パブリックコメント	市民への説明責任を果たすとともに、市民の市政への参画を促し、公正で開かれた市政の推進を図るため、意思決定の前の案の公表を行い、市民の多様な意見、提言等を広く聴くことによって、市民の立場に立ったより質

は行

	の高い政策の立案及び決定を行うための市民意見公募。
バリアフリー	社会生活、制度、施策、情報分野など様々な面において障壁を除去すること。建築設計において、段差や仕切りを無くすなど高齢者や障がい者に配慮すること。
ビルオーナー	建物の持ち主。所有者。
フォーラム	一つの話題に対して、出席者全員が参加して行う討論。また、その方式。集团的公開討議。
フォローアップ	ある物事を徹底するために、その物事の展開を継続的に調査すること。
フラッグ	旗。
プロジェクト	研究や開発などの計画。企画。
プロセス	手順、過程。
ブロック	市街化の一区域。
ベロタクシー	自転車タクシーのこと。三輪車の自転車をボディで多い、後部に2名の乗客を乗せるスペースを設け、タクシーに似た旅客運送を行う。ヨーロッパなどで、環境に負荷をかけない新しい交通手段として、期待されている。
ホームゲーム	チームの本拠地で行う試合。
ポケットパーク	街の一角などに設けられる小公園。
ポテンシャル	可能性としてもっている能力。潜在能力。

ま行

まちづくり交付金事業	地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度。
マネージメント	管理。経営。人・賃金・時間などを最も効率的に使い、企業を維持・発展させること。
メインストリート	主要道路、通り。
メディアコンプレックス	複数の情報をひとつにあつめて発信すること。
モータリゼーション	自動車が生活必需品として普及する現象。

ら行

ライフスタイル	個人や集団の生き方。単なる生活様式を超えてその人のアイデンティティ（自己同一性）を示す際に用いられる。
ライフスタイルセンター	商業を機軸として娯楽、文化、医療、福祉、学習、交流など多様で高度な都市機能がコンパクトに集積するとともに、良質な景観や豊かな緑、休憩スペースなどを備え、高齢者をはじめとして誰もが安心快適に回遊し、過ごすこ

ら行

	とのできる、出かけることそれ自体が楽しい市街地。
ライフスタイルモール	ライフスタイルにこだわりを有する消費者が消費・購買を通じて生活を編集することができる生活提案型の商品やサービス、空間等を備え、統一したコンセプトに基づいて構築された商業集積。
リニューアル	店舗などの改装・改修。また、都市などの再開発。
リノベーション	既存建物を大規模改修し、耐震性や省エネ性能など用途や機能を刷新、高度化し、建築物に新しい価値を加えること。
ルート	一定のところへ至る道筋。また路線。
レンタサイクル	貸し自転車。

わ行

ワークショップ	課題等の抽出と選択を通して、複数の市民との一定の合意形成を図る必要がある場合に、市民と行政及び市民同士の自由な議論により市民意見の方向性を見出すことを目的として開催する集まりのこと。
---------	---

その他

SOHO	小規模な事業者や個人事業者のこと。また事務所などを離れネットワークを利用して仕事をする形態。
TMO	中心市街地活性化法に基づき、市町村の商業関係者が組織する機関。市町村の基本計画にのっとり、中小小売商業高度化事業構想を策定する。それを具体化した事業計画が国の認定を受けることによって、補助金や免税措置などの支援措置を受けることができる。タウンマネージメント機関、まちづくり機関とも言う。

資料1 (P.4)

大分市都市計画マスタープラン

■ 中心市街地の将来都市構造

① 大分駅南北都心の形成

大分駅周辺総合整備事業により、JR大分駅を中心とした南北市街地の一体化を図るとともに、既成市街地であり歴史的・文化的中枢を担ってきた駅北地区と、新しい都心の形成が進む駅南地区の役割分担と相互連携によるJR大分駅を中心とした南北一体的な新しい都心の形成を図る。

a. 駅北・商業業務中核都心

大分駅北地区では、商業・業務機能の集積による拠点性を高めるとともに、教育・文化や観光・余暇等新たな機能の集積による都市魅力を向上し、集客力のある中心商業・業務地を形成する。

中心市街地への玄関口である大分駅から中心商業・業務地や主要公共施設への安全で快適な歩行者ネットワークの整備を推進するとともに、緑化の推進や建物などによる美しい景観形成を図り、魅力と風格のある商業業務中核都心の形成を目指す。

b. 駅南・情報文化新都心

大分駅南地区では、文化交流機能や情報サービス系業務機能、都市型居住機能等の集積を図り、駅北地区と連携した情報文化新都心の形成を図る。

シンボルロードを中心に、新都心の背後に広がる上野丘・都心の森につながる緑地の形成を図るとともに、周囲の緑と調和した緑豊かな都市景観・都市環境の形成を図る。

② 大分駅南北都心を連結する都心南北軸の形成

鉄道の高架化による南北市街地の分断を解消するとともに、大分市の玄関口であり、また交通結節拠点であるJR大分駅を中心に、南北市街地の連携による一体化を促進し、中心市街地のシンボルとなる都心南北軸の形成を図る。

a. 大分駅交通結節拠点

鉄道の高架化による南北市街地の連絡を促進するとともに、鉄道とバスやタクシー等による交通結節機能の強化を図り、県都・大分市の玄関口にふさわしい交通結節拠点の形成を図る。

b. 都心メインストリート（都心南北軸）

都心南北軸の形成のため、駅南地区のシンボルロード（(都)大分駅上野丘線）と駅北地区の中央通りを都心メインストリートと位置づけ、植栽等による緑化や修景等により、大分市の顔にふさわしい魅力ある通り空間及び都市景観の形成を図る。

中央通りは、大分市で最も歩行者が多い通りとして、快適で魅力ある歩行者空間を充実させるとともに、東西の商業地の連携を促進し、回遊性を高める歩行者空間の形成を図る。

シンボルロードは、ゆったりとした緑豊かな通りと広場の形成を図るとともに、植栽や修景等により個性と風格ある美しい通り景観の創出を図る。

c. 都心魅力回廊（都心回遊軸）

中央通りを挟んだ駅北地区における東西の商業地の連携及び連続立体交差事業により結ばれる南北市街地の一体化を図るため、都心魅力回廊の形成を図る。

都心魅力回廊では、一体感のある景観形成による通りの連続性やにぎわいの創出を図ると

ともに、中心市街地内を安全に回遊できる歩行者・自転車環境の形成を図り、都心の魅力向上と南北市街地の一体化を高める空間形成を図る。

d. 緑の景観軸

大分市におけるシンボリックな緑である大分城址公園と、上野丘・都心の森は都心部の貴重な環境・景観要素として保全を図るとともに、これらを結ぶ市街地において緑化を進め、南北市街地を緑のネットワークで結ぶ緑の景観軸の形成を図る。

緑の景観軸では、街路樹や植栽による緑化を推進するとともに、シンボルロードにおいては、県都・大分市の玄関口として、市民が憩い・交流できる広場の整備を図り、うるおいある都市環境・景観形成を図る。

③ 個性ある文化を創造する拠点の形成

古代・中世において北部九州の中心都市として発展してきたことから、歴史的資源が多く残るとともに、中心市街地におけるシンボリックな緑である大分城址公園や上野丘・都心の森など、多様な地域資源が豊富な地区の特性を活かし、市民や来街者が憩い・ふれあえる拠点の形成を図る。

a. 都心シンボル緑地

歴史的な拠点である大分城址公園は、堀や緑に囲まれた都心部のオアシス的な空間であり、歴史的・自然的景観の保全・形成を図るとともに、隣接する大手公園と一体的に、市民や来街者が憩い・ふれあえる公園の整備を図る。

上野丘・都心の森は、中心市街地からのシンボリックな自然的景観を形成しており、今後も美しい自然景観の保全・形成を図るとともに、大分市美術館等と一体的に市民が憩い・やすらげる交流空間の形成を図る。

b. 歴史文化観光拠点

元町周辺地区では、大友氏関連の史跡など歴史的資源を活用し、地域再生につながる歴史文化観光施設の整備を図る。

大友氏の菩提寺である旧万寿寺跡では、元町周辺地区と連携し、市民や観光客が歴史や文化に身近にふれあえる交流空間の整備を推進する。

大分城址公園においては、貴重な歴史的資源である府内城址の遺構等を活かした歴史文化観光拠点の形成を図る。

c. 複合文化交流拠点

市民の芸術文化活動や地域文化創造の拠点として、複合文化交流施設の整備を推進する。

■ 将来都市構造図



■ 広域都心構造図

